



# 平成29年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社  
 コード番号 1994 URL <http://www.t-cw.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 武治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 市川 尚

TEL 03-3271-1711

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	4,955	23.5	622	41.1	710	33.9	462	56.8
28年12月期第3四半期	6,473	9.8	1,057	21.3	1,073	20.7	1,070	19.1

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 465百万円 ( 56.0%) 28年12月期第3四半期 1,057百万円 ( 20.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	52.95	
28年12月期第3四半期	120.33	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第3四半期	11,985	7,116	59.4	814.68
28年12月期	11,274	6,825	60.5	781.39

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 7,116百万円 28年12月期 6,825百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		10.00		10.00	20.00
29年12月期		10.00			
29年12月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,900	1.3	900	23.7	950	21.1	600	60.7	68.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期3Q	9,553,011 株	28年12月期	9,553,011 株
期末自己株式数	29年12月期3Q	817,763 株	28年12月期	817,763 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期3Q	8,735,248 株	28年12月期3Q	8,899,521 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本の経済は、企業収益が好調に推移し雇用・所得環境が改善する等、景気は緩やかな回復基調が持続しております。一方、海外では欧米の政策動向や新興国の経済動向、さらには北朝鮮を巡る地政学リスクといった世界経済の懸念材料が依然として存在し、引き続き予断を許さない状況が続いております。

建設業界においては、ゼネコンの最高益更新が目につき、来年、オリンピック需要の盛り上がりが見込まれるものの、足元の建設需要が落ち込んでおり、サブコン各社においては対応に苦慮しているケースが多数発生しています。

PCカーテンウォール業界は仕事量が少ない時期が続いたため、各社、工場の稼働率がそれほど高まっておらず、製造する案件の確保が至上命題となっていました。しかし、今後は大きな需要の盛り上がりが見込まれ、来年の前半から業界各社、稼働率の大幅な改善が見込まれます。

当第3四半期連結累計期間における売上高は49億55百万円(前年同四半期比23.5%減)、営業利益6億22百万円(前年同四半期比41.1%減)、経常利益7億10百万円(前年同四半期比33.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億62百万円(前年同四半期比56.8%減)となりました。

なお、受注高は67億15百万円(前年同四半期比0.9%増)、受注残高は136億24百万円(前連結会計年度末比14.8%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントごとの業績をより適切に評価するため、主に一般管理費及び全社費用の配賦基準等を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。このため、以下の前年同四半期との比較については、前年同四半期の数値を変更後の測定方法により作成した数値で比較しております。

#### ①PCカーテンウォール事業

当第3四半期連結累計期間においては、前期より工場稼働率が低かったため、前期比売上・利益率ともに低下したものの効率的なオペレーションを行ったため、利益を積み上げることができました。

当セグメントの売上高は46億4百万円(前年同四半期比25.0%減)、セグメント利益は6億22百万円(前年同四半期比39.7%減)となりました。

#### ②アクア事業

当第3四半期連結累計期間においては、学校関連及びフィットネスクラブのプールの新設・改修の受注が堅調に推移しております。

当セグメントの売上高は2億95百万円(前年同四半期比13.7%増)、セグメント利益は11百万円(前年同四半期比19.7%増)となりました。

#### ③その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

当セグメントの売上高は54百万円(前年同四半期比24.0%減)、セグメント損失は17百万円(前年同四半期は11百万円のセグメント利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は119億85百万円と前連結会計年度末と比較して7億10百万円の増加となりました。これは主に電子記録債権が10億24百万円及び未成工事支出金が6億5百万円増加したことと、現金預金が4億38百万円、受取手形・完成工事未収入金等が2億40百万円及び繰延税金資産が2億25百万円減少したことによるものであります。

#### ②負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は48億69百万円と前連結会計年度末と比較して4億19百万円の増加となりました。これは主に未成工事受入金金が10億98百万円増加したことと、短期借入金が3億82百万円、その他流動負債が1億44百万円及び社債が1億円減少したことによるものであります。

③純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は71億16百万円と前連結会計年度末と比較して2億90百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により4億62百万円増加したことと、配当金の支払いにより1億74百万円減少したことにより2億87百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月10日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,247,957	809,033
受取手形・完成工事未収入金等	769,821	529,557
電子記録債権	1,117,769	2,141,827
未成工事支出金	2,902,052	3,507,426
その他のたな卸資産	66,809	71,182
その他	399,301	185,772
流動資産合計	6,503,711	7,244,800
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	550,281	532,014
土地	1,852,949	1,839,951
その他(純額)	403,825	364,590
有形固定資産合計	2,807,056	2,736,556
無形固定資産		
	47,379	43,508
投資その他の資産		
投資有価証券	205,168	210,610
保険積立金	822,027	867,396
投資不動産(純額)	126,155	125,485
退職給付に係る資産	100,232	107,423
その他	692,142	666,539
貸倒引当金	△28,917	△16,567
投資その他の資産合計	1,916,809	1,960,888
固定資産合計	4,771,244	4,740,953
資産合計	11,274,955	11,985,753
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	795,441	752,052
短期借入金	1,005,811	623,277
1年内償還予定の社債	122,500	100,000
未成工事受入金	758,511	1,856,709
引当金	58,920	111,816
その他	257,480	111,447
流動負債合計	2,998,664	3,555,303
固定負債		
社債	260,000	160,000
長期借入金	563,000	562,000
役員退職慰労引当金	415,892	432,438
その他	211,770	159,538
固定負債合計	1,450,662	1,313,976
負債合計	4,449,327	4,869,280

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,363	3,283,363
利益剰余金	3,642,609	3,930,457
自己株式	△238,389	△238,389
株主資本合計	6,787,582	7,075,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,046	41,042
その他の包括利益累計額合計	38,046	41,042
純資産合計	6,825,628	7,116,473
負債純資産合計	11,274,955	11,985,753

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
完成工事高	6,473,927	4,955,090
完成工事原価	4,899,374	3,801,188
完成工事総利益	1,574,552	1,153,902
販売費及び一般管理費	516,876	530,906
営業利益	1,057,675	622,995
営業外収益		
受取利息	407	387
受取配当金	1,275	1,241
投資有価証券売却益	-	7,102
保険解約返戻金	529	227
投資不動産賃貸料	6,419	6,114
受取家賃	9,947	8,838
鉄屑売却収入	11,872	18,084
テナント退店違約金受入益	-	55,400
その他	16,831	10,528
営業外収益合計	47,284	107,925
営業外費用		
支払利息	20,901	14,012
不動産賃貸費用	3,058	2,614
その他	7,506	4,199
営業外費用合計	31,466	20,826
経常利益	1,073,494	710,094
特別損失		
固定資産売却損	311	9,923
固定資産除却損	2,622	3,431
特別損失合計	2,933	13,354
税金等調整前四半期純利益	1,070,560	696,739
法人税、住民税及び事業税	5,833	5,833
法人税等調整額	△6,115	228,353
法人税等合計	△282	234,186
四半期純利益	1,070,842	462,553
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,070,842	462,553



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,070,842	462,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,730	2,996
その他の包括利益合計	△13,730	2,996
四半期包括利益	1,057,112	465,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,057,112	465,549

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,141,884	260,404	6,402,288	71,638	6,473,927	—	6,473,927
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	3,000	3,000	△3,000	—
計	6,141,884	260,404	6,402,288	74,638	6,476,927	△3,000	6,473,927
セグメント利益	1,032,818	9,466	1,042,284	11,791	1,054,075	3,600	1,057,675

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益の調整額3,600千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,604,656	295,992	4,900,649	54,441	4,955,090	—	4,955,090
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,604,656	295,992	4,900,649	54,441	4,955,090	—	4,955,090
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	622,783	11,331	634,115	△17,419	616,695	6,300	622,995

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額6,300千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適正に評価するため、主に一般管理費及び全社費用の配賦基準等を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。

当第3四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成しており、前連結会計年度の第3四半期連結累計期間に開示したセグメント情報の利益又は損失の算定方法との間に相違が見られます。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。